

(第3号様式)

營業概要書

1 技術者数

- 調査員 _____ 名
(発掘調査現場に常駐し、業務の管理及び統轄等を行った経験のある者)
- ・調査補助員 _____ 名
(遺構実測、写真撮影、遺物取り上げ、遺物分類・実測・トレス等の専門的作業の経験がある)
- ・測量士・測量士補 _____ 名
(資格取得者)
- ・施工管理技士 _____ 名
(資格取得者)

2 沖縄県内における発掘調査支援業務の履行実績

契約期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで
業務名	
発注者	
契約金額	
業務内容	

契約期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで
業務名	
発注者	
契約金額	
業務内容	

備考:1 沖縄県及び県内市町村と同種・同規模の契約を締結し、かつこれらを全て誠実に履行した実績について、1件以上記載すること。

2 契約書の写しを添付すること。

3 調査員数

調査員のうち、沖縄県内での埋蔵文化財発掘調査支援業務において、現場に常駐し、当該業務の管理及び統轄等を行った経験を1年以上有する者（準備期間を除く調査月数）

※貴社での「調査員」等の職名ではない。

_____人

調査員リスト

[illegible]

備考:1 「職名」は、貴社での職名を記入すること

2 調査員の経歴については、「4 調査員経歴書」に記入すること。

4 調査員経歴書(一人につき一部)

ふりがな

氏名:

最終学歴:

会社における職名:

入社年月日:

埋蔵文化財発掘調査支援業務において、現場に常駐し、当該業務の管理及び統轄等を行った経験

月数(通算): ヶ月(うち沖縄県内での月数 ヶ月)

※大学での実習、調査補助員、嘱託員及び発掘作業員の経験は除く

現住所: 沖縄県内 ・ 沖縄県外 ※当てはまるものに○印

発掘調査経歴(沖縄県内) ※大学での実習は除く

年度	業務名	業務場所 市町村名	遺跡の時期・種類	調査時の役割	調査月数 (従事月数)	調査面積	担当業務内容
(例) H30	〇〇遺跡発掘調査支援業務委託	宜野湾市	縄文、グスク、近世～近代	調査員(主) 調査員(副) 調査補助員	6ヵ月	5,000㎡	発掘調査
				調査員(主) 調査員(副) 調査補助員			
				調査員(主) 調査員(副) 調査補助員			
				調査員(主) 調査員(副) 調査補助員			
				調査員(主) 調査員(副) 調査補助員			
				調査員(主) 調査員(副) 調査補助員			
				調査員(主) 調査員(副) 調査補助員			
				調査員(主) 調査員(副) 調査補助員			
				調査員(主) 調査員(副) 調査補助員			
				調査員(主) 調査員(副) 調査補助員			
				調査員(主) 調査員(副) 調査補助員			

※当てはまるものに○印

備考: 表が足りない場合は、別紙にて追加作成すること。

アンケート調査へのご協力をお願い

沖縄県立埋蔵文化財センターでは、発掘調査・資料整理業務の民間調査組織活用について検討を行っており、貴社の業務内容を参考にさせていただきたいと考えております。

つきましては、下記の貴社提供可能技術・業務についてのアンケートにご回答いただけますよう、ご協力お願い致します。

なお、この調査は任意のご協力をお願いするものであって、協力いただかなくても入札参加資格審査に影響を蒙ることはありません。

※今年度、別業務等ですでにお答えした内容と変わらない場合は回答されなくて結構です。

会社名

貴社提供可能技術・業務

※可否のどちらかを○で囲ってください(他会社との技術・業務提携により可能となるものを除く)

・遺構等の手実測		可	否
・三次元レーザー測量		可	否
・遺構等のオルソ画像作成及び図面作成		可	否
・デジタルトレース	イラストレーター使用	可	否
	cad使用	可	否
・遺物実測	手実測	可	否
	デジタル実測	可	否
・空中写真撮影	ラジコンヘリ・セスナ	可	否
	ドローン	可	否
	ヘリコプター	可	否
・遺物の洗浄作業		可	否
・遺物の注記作業		可	否
・ジェットマーカー(注記機械)の使用		可	否
・自然科学分析		可	否

(分析可能項目: _____)

・遺物保存処理

可	否
---	---

(保存処理可能項目: _____)

※その他貴社提供可能技術・業務がありましたら、下にご記入ください

(項目: _____)

・発掘調査に関して提携している会社の有無

有	無
---	---

※有の場合、差し支えないようでしたら、会社名を下の()にご記入ください。

(_____)